



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

# 大地震、何が起きる？ どう備える？

—地震のメカニズム、予測・対策から復興まで—



## 東京で学ぶ 京大の知 シリーズ21

5年前の2011年3月11日。

M9.0という観測史上最大規模の地震に、文字通り日本は大きく震えました。私たちが暮らす日本が、地震大国であることに、あらためて多くの人が直面し、過去、そして未来において、日本は地震とともにあることを感じました。もちろん、未来に「絶対の予測」など、ありません。そして、ひとたび大地震が起これば「被害ゼロ」もありません。だからこそ、私たちは地震をもっと知り、備える必要があるのです。東日本大震災、そして首都直下地震、南海トラフ巨大地震などにも触れながら、4人の研究者が、それぞれの視点から語る「地震」について、一緒に考えていきましょう。

【主催】京都大学

【講演時間】各回18時30分～20時

参加費無料



第1回

3月9日(水)

林 康裕

工学研究科 教授

### 巨大地震に備えた 都市・建築物の地震対策

東京では、首都直下地震や南海トラフを震源とする巨大地震の発生が懸念されています。本講演では、阪神淡路大震災や東日本大震災などの地震被害経験を踏まえた、都市・建築物の地震対策のあり方についてお話しします。



第2回

3月16日(水)

橋本 学

防災研究所 教授

### 巨大地震の予測と 地震科学の限界

東日本大震災以降、南海トラフなど巨大地震の想定が相次ぎ、社会は対応に追われています。ただ一方で「大規模地震の予測が極めて困難」という報告もあります。それらの科学的根拠、合理性などを、地震科学の限界を踏まえつつ解説します。



第3回

3月23日(水)

平原 和朗

理学研究科 教授

### コンピュータ地震なまずの 飼育法

コンピュータ上に日本列島を作り、日本列島下に沈みこむプレート運動と岩石の摩擦則を用いて地震を発生させる、「コンピュータ地震なまずの飼育法」(地震発生サイクルシミュレーション)を通して、地震発生謎に迫ります。



第4回

3月30日(水)

牧 紀男

防災研究所 教授

### 復興から考える、 地震で起きること・備えること

首都圏では近い将来、M7クラスの地震の発生が予想されています。被害をゼロにすることは不可能であり、災害からの回復力を高めることも重要です。近年の災害事例から、災害が地域に与える影響、災害への対処方法について考えます。



### 開催場所・問い合わせ先

京都大学 東京オフィス 東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階

TEL: 03-5479-2220 FAX: 03-5479-2221 E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office

### 申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込みください。各回定員100名、締め切りは3月1日(火)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいただくことも可能です。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は抽選とさせていただきます。



! スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。